

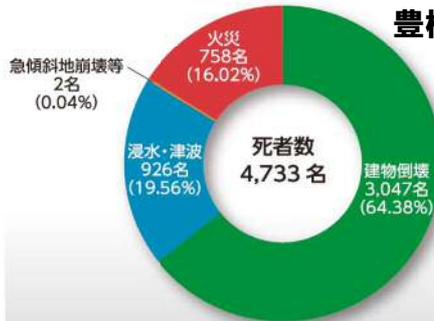
おしえて ボウサイマン



地震について 編

理論上最大モデルでの被害予測

豊橋市



Q&A

お答え
します



Q 南海トラフ地震とは、どんなものですか？

A 豊橋市では被害予測調査を実施し、平成26年に公表された内容によると、**最大でマグニチュード9.0、震度7**。市内の建物のうち68,215棟に被害が出ると算出されました。人的被害も上記の予測となります。豊橋のほとんどの地域で最大震度となる予測です。



Q 豊橋にも津波は来ますか？

A 実際に過去の大地震でも豊橋は津波被害を受けていますし、南海トラフ地震予測では来るとされています。**外海地域は最短で4分、最大19m。三河湾側は最短で77分、最大2.9m**で来ると想定されています。しかし地震は多様性があり予測困難でありますので、想定を超える事も考えられます。



Q どの校区が危険ですか？

A どこも危険はあります。それぞれの地域に合った危険を知ることが大切です。例えば**揺れの大きい地域、津波の届く地域、液状化の起こる地域、地震後の火災が危険な密集地域、急傾斜地**による土砂崩れなど。また市街地でも看板やブロック壁など落下、転倒する危険もあります。



Q 地震に備えておくのに、最優先は何ですか？

A 非常持ち出し袋の準備なども大切な準備ですが、『**一番は命を守る事**』です。上記グラフの人的被害のとおり、地震が起きた際の死亡原因は建物倒壊、家具転倒による圧死が最多となります。**住宅の耐震化や、家具の固定**など、命を守る対策を最優先にお願いします。

